

国際基督教大学高等学校 スクールポリシー

スクール・ミッション

本校は、1978 年に学校法人国際基督教大学により設立されました。国際基督教大学と建学の精神を同じくしています。キリスト教信仰に基づき、世界人権宣言にうたわれている人権尊重の精神を重んじ世界平和に貢献する人となるよう、祈りつつ教育することを本校の目的とします。

スクール・ポリシー

ICU 高校 グラデュエーション・ポリシー：育成を目指す資質・能力に関する方針

本校の教育により、キリストの福音が伝える神の愛を受け一人ひとりの人間の尊厳を知り、特により苦難を強いられている人々の隣人となる勇気を持つ人、生涯にわたり学びを追究することを楽しむ人生を歩む人、人権を尊重する社会を形成し、キリストがひらいた平和をこの世界で実現するために貢献する人として卒業生をこの世界へと送り出します。多様な他者とともに豊かに学び、それぞれの違いを尊びつつ協力し合う学校生活を送ることにより、自身の思惟を言葉にして考え行動する力、異なる考えに聴き議論し知恵を合わせて課題に向かう力、そのために必要となる人間性を養い、自身に与えられた生と能力とを存分に生かしつつ、よき市民として生きる資質を育みます。

ICU 高校 カリキュラム・ポリシー：教育課程の編成及び実施に関する方針

本校は、各学年で以下を教育目標の柱とする、学年制の教育課程を持ちます。学校指定のコースは設けず、入学までの背景や卒業後の進路志望のいずれも多様な生徒が、全員同じ教育課程のもと、ともに学ぶ授業クラス編成をしています。必修科目を全教科が総合しあうよう配置し、選択科目は各人が自身で自身の学びを深化させるカリキュラムを作り上げるようにしています。

いずれの授業クラスにおいても、生徒おのの入学以前の教育背景を考慮し、日本語運用能力にも配慮する教育・学習の工夫をしています。

1 年：学びのためのリテラシーを高める

——多角的に学び、日本語・英語両語の学習で学問に向かう力をつける。

2 年：多分野の学びを自身の知に総合する

——学問分野の広がりを知り総合しながら、日英両語で自身の考えを文章にし、論じる力をつける。

3 年：探究して知を深め、発信・共有していく

——全課程を通し、平和をつくる社会の担い手となり、生涯にわたって学びつづける生き方へ繋げていく。

本校は、教育全体の基盤として、キリスト教教育を行います。全学年に「キリスト教概論」（1 単位）を配置するのみならず、入学から卒業までの式典、始業式から終業式までの学期、各日の始業において聖書の神を見上げ、キリストの香りが校内に満ちることを願うカリキュラムを学校生活に組み込みます。

本校は、教科教育を総合して学びあう課程を重視します。GLP（Global Learning Programs）および3年生の自由研究講座や特別授業で、独自の特色ある教育を行い、生徒自身が学んだことを統合して自身の思索や展望につなげる力を養うカリキュラムを作ります。

ICU 高校 アドミッション・ポリシー：入学者の受け入れに関する方針

本校は、中学校以前を保護者に帯同して海外で住み育ち、多種多様な文化背景を知る経験をしてきた帰国生徒と、国内で育ってきた生徒とが双方入学することで、それぞれの豊かな経験と知識を与え合い、ともに学び合う教室を形成します。そのため創立以来、帰国生徒が定員の3分の2、国内で育った生徒が3分の1の割合で入学するよう入学定員を設けており、その割合は本校ならではの良い教育環境を作り上げます。帰国生徒は海外において育まれたものの見方・考え方をいっそう深めつつ、日本の学習指導要領に基づく学習を進め、国内生徒は帰国生徒との学校生活を通じて、新しい経験と価値観とが共生する社会を知り体得することをめざし、細やかに編成された授業クラスで学びあい、ホームルーム活動や課外活動をともし行うことで充実した学校生活を過ごします。